

「令和6年度いわて新農業人チャレンジファーム第22回研修を開催しました！」

第22回の研修は、令和6年12月6日（金）7日（土）に、盛岡市勤労福祉会館で開催しました。今回は、外部講師をお招きして複式農業簿記の基礎についての講義と、指導員から研修報告書の原稿作成についてのアドバイスをを行いました。

研修の前半は、岩手県農林水産部農業普及技術課から吉田徳子上席農業普及員をお招きし、複式農業簿記について講義をいただきました。

簿記の概要や農業経営における確定申告方法の違い、記帳の流れなどについて解説いただきました。

質疑応答では、支出における証票の保存や申告書の記入項目、光熱費等の経費計上の方法についてなど、多くの質問が上げられ、興味が高い内容であることが伺えました。

講義の最後に、吉田氏から、「複式簿記は決算書の作成に欠かせない知識である。決算書は

経営改善に向けての生産費の把握や融資における経営の信用に繋がるため、ぜひ勉強して習得していただきたい。」とのことでした。

後半には、本研修のまとめとして、研修を通して学んだことや、今後の農業に関する夢などを各受講生が記述する研修報告書の作成方法について指導員から留意点などを説明しました。

記述項目の1つである、今後の目標については、「それぞれの目標を達成するために、野菜栽培に例えると、これまで学習した栽植本数や栽培時期などをより具体的に表現することで、それぞれの夢や目標がさらにイメージしやすくなるのではないか。」と、受講生へアドバイスを伝えました。

次回の研修は、12月14日（土）に盛岡市勤労福祉会館において、特別講義を行う予定です。



第22回研修の様子



講師：岩手県農林水産部農業普及技術課
革新支援担当 上席農業普及員 吉田 徳子 氏



受講生からの質問に回答する吉田氏（右）



研修報告書の作成ポイントを説明する指導員（中央上）